

2025年7月4日(金)、梅雨明け前の蒸し暑い中、宇都宮の大谷石切場跡に行ってきました。

天然の冷蔵庫と云われるだけあり、地下30mの気温は11度と肌寒く感じました。

幸い薄曇りで強い日差しはなく、近場の大谷寺の大谷観音、そのそばにある平和観音、高くそびえる奇岩群の見られる大谷景観公園などを楽しむことができました。

今回の参加者は12名の参加でハイキングを楽しみました。

コースは右図の青点線のルート

10:05 宇都宮駅西口にて、バスの時間待ち

(宇都宮線の電車遅れで予定のバスに乗れず約30分時間待ち)

スタート時間が30分遅れたため、当初計画を変更し、現地へ到着後、すぐ昼食を取り、その後ハイキングと変更しました。



10:30 宇都宮駅西口バス乗り場
バス待ちの一行



11:15 元石切場跡地にある「そば倶楽部 稲荷山」
にて昼食

(そば食べ比べセットで「二八そば」と「寒ざらし」の二つ)

評価は？まあまあ・・・



12:08 腹ごしらえも終わり、
大谷寺に向かう一行

12:10 大谷寺仁王門



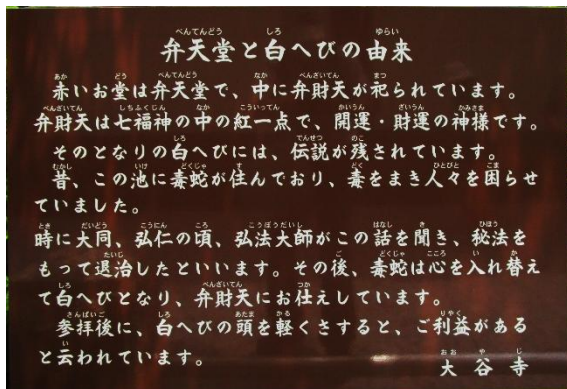
12:15 大谷観音への入り口
この岩山の内部に「千手観音」「石仏群」
がありました。



『内部は撮影禁止のため、「大谷寺」のHP掲載の画像と HP の説明』



大谷寺本尊千手観音(高さ 4m)は、平安時代(810年)弘法大師の作と伝えられています。古くから大谷観音と称され、鎌倉時代に坂東 19 番の霊場となり、多くの人々から尊崇されてきました。最初は、岩の面に直接彫刻した表面に赤い朱を塗り、粘土で細かな化粧を施し、更に漆を塗り、一番表には金箔が押され金色に輝いていました。最新の研究では、バーミヤン石仏との共通点が見られることから、実際はアフガニスタンの僧侶が彫刻した、日本のシルクロードと考えられています。



12:25 宝物館横の弁天堂 Sさんにご利益は？



12:28 大谷寺山門を出たところから
平和観音のお背中が...



12:30 平和観音前の一行
大谷石の採石場跡を利用して彫られた高さ約27mの観音様。
第二次世界大戦の戦没者の霊を弔い平和を祈って、6年の歳月をかけて昭和29年(1954)に完成



12:40 大谷景観公園前の岸壁風景

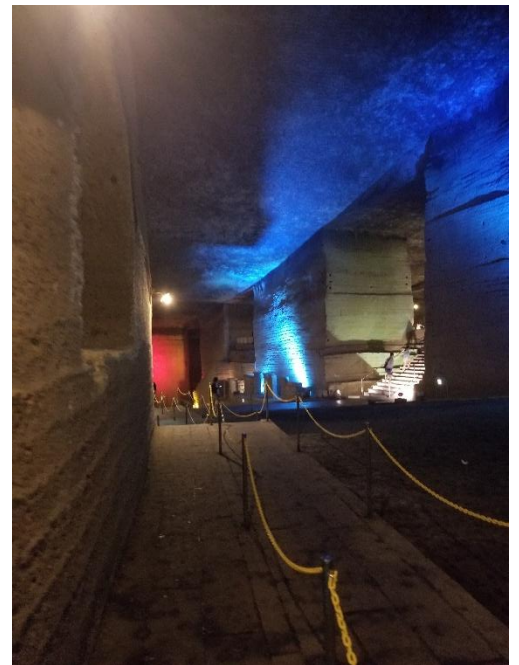
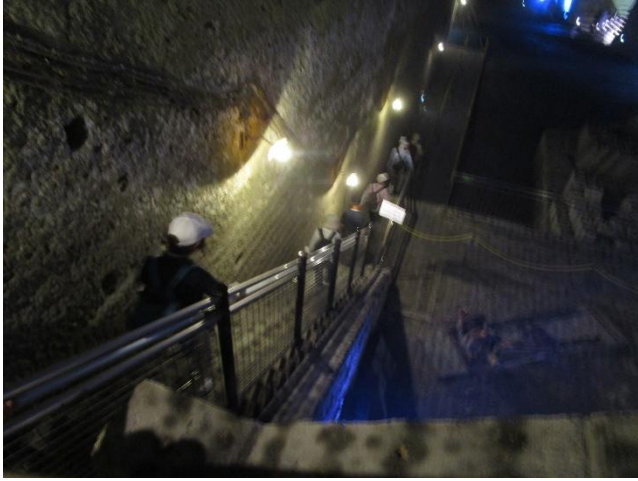


12:45 集合写真撮影

12:50 大谷資料館へ



12:55 資料館内部へ



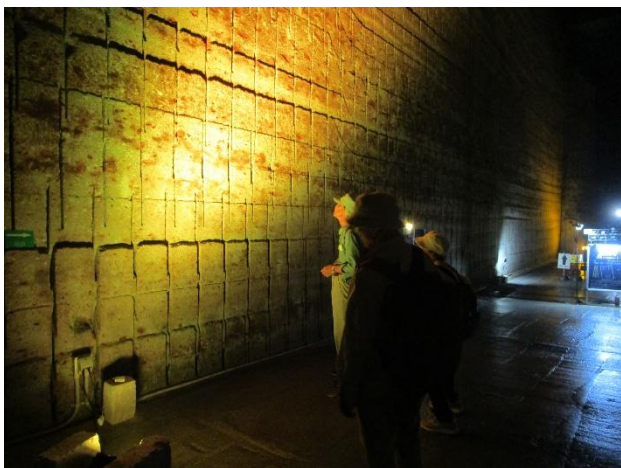
地下へ降りるにつれ気温は下がり涼しさから、肌寒さを感じた。



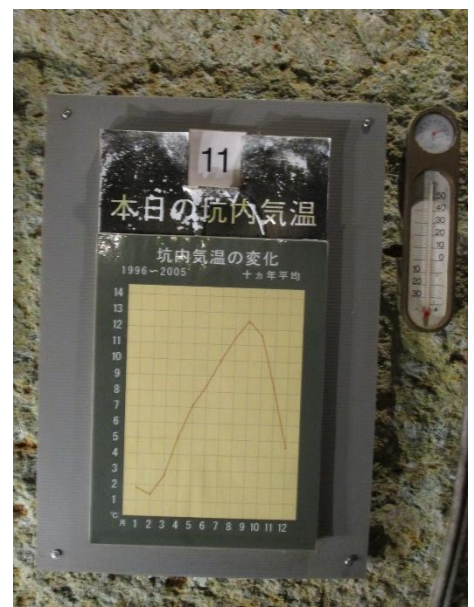
切り出し跡を眺める一行。



華道家「假屋崎省吾」の作品が展示されていた



13:05 機械による切り出し跡を眺めるSさん



13:15 本日の坑内気温 11°Cでした。



大谷石作ったステージ



地上につながった穴があり、地上ではこの周辺の気温がかなり低そう。資料館へ来る道すがら、すーっと涼しさを感じる場所があり、ここから冷気が地上へ噴き出しているのかな？



13:30 地下宮殿の観光も終わりかなり上へ上がってきました。

13:45 地上で少し休んだ後、帰りのバス停に向かう一行



14:47 宇都宮駅西口に到着し、解散の挨拶



暑い時期、「涼しい所」、「歩行距離が短い」を目的に「大谷石切場跡」を今回のハイキングの場所として設定し、結果的には良かったと思っています。

目的地までの交通時間が約3時間と長旅でしたが、皆さんいかがでしたでしょうか？

朝、宇都宮線での遅延があり、バスに乗り遅れたというトラブルも多少ありましたが、見学順の入替などで対応できました。幸いお天気も猛暑日にならず、皆様、無事に完了できてよかったです。

参加いただいた皆さま、大変お疲れ様でした。また、ご協力ありがとうございました。

次回は、9月5日(金)「熊谷江南・縄文土器に触れる」ハイキングが美術工芸科の担当で開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

記:加藤 治朗